

# 下地補修材と塗膜との付着力 試験結果報告書

平成 25 年 3 月 22 日

株式会社アサカ塗料商会  
コニシ株式会社  
エスケー化研株式会社

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、先般の勉強会にてご依頼いただきました下地補修材と改修塗膜との付着性についての試験結果をご報告申し上げます。

## 記

- 1 本試験の目的
- 2 試験機器
- 3 試験材料
- 4 試験方法
- 5 状況写真

以 上

## 1 本試験の目的

本試験は、外壁改修工事、特に塗膜の塗替工事を行うにあたり、様々な下地補修材と改修塗膜との密着性を確認することを目的とする。具体的には付着強度を測ることにより密着性・相性を調べることである。

## 2 試験機器

- ◎建研式(油圧式)簡易引張試験機器
- ◎鋼製アタッチメント (40mm×40mm)
- ◎エポキシ樹脂系2液型接着剤 (コニシ製ボンドクイックメンダー)

## 3 試験材料

### ●補修材

1. ボンドエフレックス (1液変性シリコーンエポキシ樹脂)
2. ボンドUカットONE (パテ状可とう性エポキシ樹脂)
3. ボンドE206 (低粘度形エポキシ樹脂)
4. ボンドE207D (中粘度形エポキシ樹脂)
5. ボンドE208 (高粘度形エポキシ樹脂)
6. ボンドE209 (高粘度形エポキシ樹脂)
7. ボンドPモルタル (エポキシ樹脂モルタル)
8. ボンドKモルタル (軽量エポキシ樹脂モルタル)

### ●下塗材 (タッチアップ程度)

- A. 水性ミラクシーラーエコ (一液水性エポキシシーラー)
- B. 一液マイルドシーラーES (一液弱溶剤エポキシシーラー)
- C. ミラクファンドKC-1000 (カチオン系セメントフィラー)
- D. 水性ソフトサーフSG (一液水性微弾性サーフェーサー)

### ●下塗材 (全面)

- ◎水性ソフトサーフSG (一液水性微弾性サーフェーサー)

### ●上塗材 (全面)

- ◎水性セラミシリコン (一液水性シリコン樹脂塗料)

#### 4 試験方法

- ①試験体はコンクリート（約 300mm×約 1160mm）の板にそれぞれの補修材にて補修を施したものに、4種類の下塗材でのタッチアップ塗りをを行い、全面に水性ソフトサーフSG、水性セラミシリコンを施工したものとした。試験はそれぞれの組み合わせにおいて付着の強度を測定する。
- ②エポキシ樹脂系接着剤のA剤、B剤を指定された割合でよく練りあわせ、鋼製アタッチメント（40mm×40mm=1600mm<sup>2</sup>）に塗布し、壁面に貼り付ける。
- ③接着剤が硬化するまで、ガムテープで固定する。
- ④カッターでアタッチメント四周に下地に達するまで切り込みを入れる。
- ⑤建研式（油圧式）引張試験機によりアタッチメントを引張り、破断した時点の数値を記録する。
- ⑥破断した時点の数値を1mm<sup>2</sup>当たりの数値に変換、記録する。
- ⑦破断状況を目視により破断部位及び破断部位別の割合を確認、記録する。